

第 55 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

○と き：令和 3 年 7 月 8 日（木）18 時 00 分から 18 時 30 分まで

○ところ：大阪府新別館南館 8 階 大研修室

○出席者：吉村知事・田中副知事・山口副知事・海老原副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・福祉部長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教育長・府警本部警備部長・大阪市健康局首席医務監

【会議資料】

会議次第

資料 1 - 1 まん延防止等重点措置に基づく要請

資料 1 - 2 まん延防止等重点措置の実効性確保

資料 1 - 3 専門家のご意見

資料 2 - 1 「大阪モデル」の運用

資料 3 - 1 （参考）現在の感染状況・療養状況

資料 3 - 2 （参考）感染拡大の兆候について

【知事】

- ・皆さん、お疲れ様です。
- ・昨日本部会議を開催いたしまして、まん延防止等重点措置の延長を要請すべき、そして国に要請するという判断をいたしました。
- ・本日、国において大阪府のまん延防止等重点措置が 7 月 12 日から 8 月 22 日まで延長されるという判断がされました。感染対策を引き続き徹底して取っていく必要があると思っています。
- ・新規感染者の状況ですけれども、明らかに感染再拡大の兆候が見られるというのが大阪の現状です。
- ・本日、我々が見張り番指標としている数値のアラームが点きました。20 代、30 代の陽性者の方、1 週間の平均の前日増加比が 1 を超える日が 4 日間連続で続いた場合には、アラームを鳴らすという指標を我々持っているわけですが、本日 4 日連続で 1 を超えるということになりましたので、やはり感染状況としては、感染再拡大の傾向が明らかに見られると、増加のトレンドに入ったと思います。
- ・この増加のスピードをいかに抑えていくのかが、非常に重要になってくると思います。そのためにも本日、まん延防止等重点措置が延長されることが決定されました。
- ・基本的には、これまでお願いしている中身を継続してお願いすることになるかと思っています。その中でも、緊急事態措置から、事業者の皆さん、府民の皆さんの協力で非常に多くの感染をぐっと抑えているところもあります。
- ・社会経済活動と感染対策を何とか両立させていくことと併せて、感染の急拡大を起こさせない、特に 7 月末に高齢者の 2 回目のワクチン接種が概ね完了するまで、急拡大はできるだけ起こさせないということが非常に重要だと思っていますので、そういったことも念頭に置きながら、本日、府民の皆さん、事業者の皆さんにお願いする内容を決定していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

- ※資料1-1に基づいて、危機管理監より説明。
- ※資料1-2に基づいて、危機管理監より説明。
- ※資料1-3に基づいて、健康医療部長より説明。
- ※資料2-1に基づいて、健康医療部長より説明。
- ※資料3-1に基づいて、健康医療部長より説明。
- ※資料3-2に基づいて、健康医療部長より説明。

【田中副知事】

- ・昨日の説明では、人流が直近では増加傾向にあるということがありました。
- ・そうした中で、大規模商業施設等について、20時から21時まで広げるとするのは、やはり経済対策と両輪をにらんだ大変苦しい判断だと思うんですが、ただ昨日の資料では、人流は増加しているんですが、昼間はもうほとんど100パーセントに近い戻りですけども、夜間は7～8割ぐらいで緩やかだったと思うんですよ。
- ・その辺が、今回の判断の拠り所の一つになっているのではないかなと思うんですが、そうなのかどうかということが一つ。
- ・もう一つは、例えば20時から21時にしたら、人流の増加にどのぐらい影響が出るのか、数量的なシミュレーションを、今何か行っておられるかどうかをお聞きしたい。

【危機管理監】

- ・まず、今回大規模商業施設等につきましては、これまでの20時から21時までという措置内容をお示めししておりますけれども、ご質問いただきましたように、昨日の本部会議資料でいいますと、梅田でも難波でも終日、あるいは15時台は、ほぼ3月並みに戻っておりますが、21時台は8割強ぐらいになっております。
- ・事実としてまずそうですし、これを21時までとしたときに、シミュレーションについてご指摘いただきましたけれども、どこまで戻るかというのはなかなか計算しづらいんですが、この8割強というのがもう少し戻るのではないかと。
- ・ただ、21時までという縛りをかけておりますので、すごく戻り過ぎるわけではないのではと考えております。

【田中副知事】

- ・昨日の今日ですから、シミュレーションというのはちょっと難しいと思うんですが、ただ、第五波や第六波に備えて、やはり経緯を考えたときに、今回分析をきっちりしておくことは大事だと思いますので、そこは引き続き作業をお願いいたします。

【危機管理監】

- ・了解いたしました。
- ・特に実際に数字として出てくるかと思っておりますので、おっしゃいましたように分析したらある程度わか

るかと思っております。

【山口副知事】

- ・飲酒を2人から4人に、あるいは大規模商業施設等を20時から21時ということで、本当に徐々に徐々に今の感染状況を見て、一定要件を拡充していくことは妥当だと思うんですが、ただこれを支えるにはやはり徹底した感染対策っていうのは必要だと思います。
- ・特にゴールドステッカーは、申請をしたら一応お酒が提供できるということですがけれども、確実に実効性を確保するというのであれば、審査をスムーズにやっていくことが重要だと思うんですが、その点についてどういう方向で取り組むのかがあれば説明をお願いしたいと思います。

【危機管理監】

- ・まずゴールドステッカーにつきましては、現在のまん延防止等重点措置のアルコール提供の条件だということもありまして、一時的に急激に申請がございましたけれども、徐々に審査待ちの状況は解消されていると思っております。
- ・それと、民間事業者に認証の一部の事業を担っていただいているんですが、これまでの体制が300人だったのを400人体制にして加速しております、そういったことでこれからもより加速し、できるだけ速やかに認証まで至りたいと思っております。

【山口副知事】

- ・ぜひここは強力な体制で進めてもらいたいと思います。なかなか認証が進まないということになると、十分実効性を確保しているのかという疑問も出てきます。
- ・ここはもうマンパワーで処理していくということが非常に重要だと思うので、ぜひ力を入れてやっていただきたいと思います。

【海老原副知事】

- ・東京が、非常に感染が厳しくなっているという報道があります。
- ・その中で、経済との両立に注意しながら、まん延防止措置を継続するというのは、非常に大事なことで改めて感じております。
- ・東京の今後の先行きですけれども、非常に厳しいという報道もありますので、そこをよく見ながら、対策を講じていくことが必要と感じております。
- ・これから、健康医療部でしっかりデータをとっていかれると思うんですが、東京の影響みたいなものを分析できるのかできないのか。変異株の割合で分析していくのかもしれないけれども。
- ・首都圏の状況を見ながら分析していくという切り口も必要かなと思いましたがけれども、その辺について何かコメントがあればお願いいたします。

【健康医療部長】

- ・本日も添付させていただいております、「資料3-1」の6ページをご覧ください。
- ・ここで、東京都の今の状況、変異株の置き換えの割合が、7月5日時点で、東京都がほぼ40%、大

阪は7%台でございます。

- ・前週比を見ていただきますと、今、東京の方が早く前週増加数、1.2倍というペースにのっています。ただ、大阪も昨日までのデータを更新いたしますと、前週比1.24倍になりました。
- ・これまでの数値的なデータの東京都との波の影響のタイムラグで言いますと、おおよそ2週間程度で人の行き来により、遅れて波が伝播してきたということがありますので、東京の状況も含めて、しっかりとウォッチしていきたいと思っております。

【海老原副知事】

- ・ありがとうございました。「東京の状況をよく見ながら」ということを改めて確認できましたので、しっかりとやっていきましょう。以上です。

【知事】

- ・現時点の新規の感染者数、それから病床の使用率を見れば、これはステージ2ではないかと。指標でいくと、ほとんどステージ2というのは、まさにその通りだと思います。
- ・なので、事業者の皆さん、府民の皆さんからすると、まん延防止で解除が普通じゃないの、と思われる方も当然多いと思っております。
- ・また、特に飲食店の皆さんにおいては、まん延防止措置が解除されているエリアについては、京都、兵庫もそうですけれども、お酒も営業時間を1時間延ばすということが、一般的な対応として取られます。
- ・そういった意味では、このまん延防止措置について、解除ではないのかと、日々の生活という意味では本当に強く思われる事業者の方もいらっしゃると思っております。
- ・ただ、ここについては、先ほど申し上げた通り、今の感染の再拡大の明らかな影響、確実にすでに少しずつ増えてきており、増加ステージになっている。昨日も議論した中身だと思っていますので、まず、やはり感染について抑えていかなければいけない。
- ・飛沫感染の場については、引き続き、お酒については原則として、提供の禁止のお願いをします。
- ・例外的に感染対策を徹底してくれているゴールドステッカーの店舗については、お酒は夜の7時まで、そして営業時間は夜の8時までを引き続きお願いをしていきたいと思っております。その中でも、ずいぶん感染も抑えられているという状況もあります。
- ・今まで、ゴールドステッカー申請店、取得店について、原則2人までと非常に厳しいお願いしておりましたが、ここについては対処方針の範囲内ということで、4人までということに変更をしたいと思っております。
- ・また、大規模商業施設等につきましても、緊急事態宣言期間中、全ての休業をお願いしたり、あるいは土日の休業をお願いしたりとやってまいりました。
- ・大きな感染は抑えられている状況の中で、引き続きやはりお願いすべきことはあると思っておりますので、この20時についても21時に1時間ずらして、この対応をお願いしていきたいと思っております。
- ・またその中でも、専門家のご意見、この部分だけにスポットを当ててお聞きすると、やはり2人か4人と言えば、4人の方が感染率は高いと。これは専門家として当たり前の意見だと思っています。
- ・専門家の意見の中でも具体的な指摘として、感染が広がりやすい環境において、感染対策を徹底する

のが大事というご意見がありました。

- ・飲食の場において、ゴールドステッカーの申請をお願いし、我々も見回っていますが、その中で徹底した対策をお願いし、また現実にその確認をする。1店舗1店舗やっていくことが非常に重要だと思っていますし、これが専門家の皆さんの意見にも繋がってくると思います。
- ・店舗の見回りを今行っていますが、ここについては感染対策を飲食の場ではより徹底するという観点から、引き続きお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・府民の皆さんに対しては、やはり一人ひとりの感染対策が大事なので、飲食の場において、引き続き感染対策の徹底をお願いしたいと思います。
- ・また、それぞれの関係部局においても、特に企業、大学等、関係団体がありますので、今日決まったことについて、しっかり伝えてもらいたいと思います。
- ・とりわけ20代30代、新規陽性者数の平均値が4日連続で1を超えている。この後、急拡大が起きやすいという見張り番指標が本日点灯しました。
- ・大学生、これから夏休みに入るということで行動範囲も広がりますし、20代30代のエピソードを見ていると、サークル活動とかスポーツ、職場・アルバイト先の接触等、飲み会・会食等で増えてきていますので、ぜひ感染拡大の兆候があるということについて、きちんとそれぞれの大学や企業について啓発、しっかりやってもらいたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・本日、まん延防止が延長されて、対策の中身としてはこの方針で決定していきたいと思います。
- ・今、大阪においては、感染再拡大の予兆が明らかに出ています。なんとか感染対策を引き続きお願いをして、この間、急激な感染増加にならないよう、府民の皆さん、事業者の皆さんに働きかけをお願いして参りたいと思いますので皆さんよろしくお願いします。
- ・海老原副知事がおっしゃったこと、非常に僕も重要だと思っていて、大阪の分析だけやっていますけれど、東京は本日緊急事態宣言が出されるということになりました。
- ・やはり感染が急拡大しつつある。同じ大都市で、株の置き換えが起きているという意味でも、ほぼ同じです。似た傾向になる可能性というのは非常に高いと思っています。
- ・先ほどのデルタ株の置き換えのところ、「資料3-1」の6ページで、非常に注意しなければならぬと思っています。第四波のときは、大阪の方が先に置き換えが進んでいました。
- ・置き換わりのスピードが、感染にも直結するというので、第四波の時は、大阪が先に置き換わって、東京が置き換わったという状況。つまり、デルタ株について、置き換わりが進むときに感染が急拡大しやすいというのはほぼ間違いのないだろうと思っています。
- ・現在も大阪0.07、東京が約0.39ですが、着実に置き換わりは大阪も進んでいっていると思いますので、同様に感染急拡大することはありえますから、やはりデルタ株へのスクリーニング検査を注視し、首都圏における感染の状況も注視をしながら、大阪においても感染対策の徹底を図っていくことをやってまいりたいと思いますので、モニタリングをこれから詰めていこうと思います。
- ・今回の期間は、8月22日までと非常に長い期間になります。モニタリングもしながら、感染急拡大を含めた状況にも臨機応変に対応できるよう対策をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

以上